

令和7年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 山梨県甲州市

自治体名： 山梨県甲州市  
担当課名： 生涯学習課  
電話番号： 0553-32-5098

本報告書は、スポーツ庁の「令和7年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業）」の一環として、山梨県が実施した「令和7年度地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業」の成果を取りまとめたものです。

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	264 km <sup>2</sup>
人口	28,900 人
公立中学校数	3 校
公立中学校生徒数	617 人
部活動数 (運動部活動のみ)	22 部活
地域クラブ活動数	3 クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

## 地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

### 甲州市における地域連携・地域移行の現状

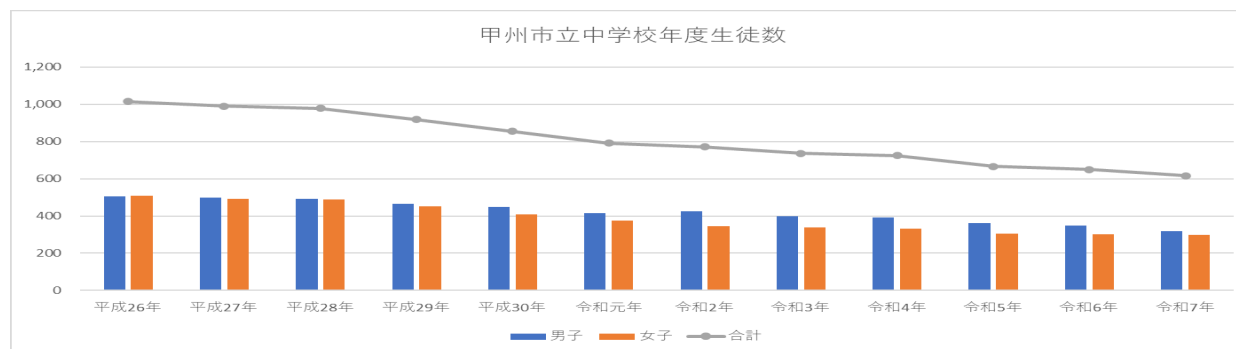
過疎化と高齢化、また全国的な傾向である人口減少及び少子化による市内中学校の統廃合が進んでいる。市町村合併した平成17年当時に市内に5校あった公立中学校は、現在3校である。

このように少子化の影響に対し、部活動種目の適正な維持と、段階的な地域移行を促進するため、当市ではコーディネーターの配置と推進委員会を設置し、令和5年度は市としての地域移行への方針を策定し、令和6年度は試験的な地域クラブの設立と移行準備、学校や地域への調整を行い、令和7年度には段階的な地域展開を進め、2クラブを追加した。

### 甲州市における地域連携・地域移行の課題

少子化の波は、部員数の確保困難による休部や、団体種目の部員数が足りず、既に他校と合同で部活動を行っている種目もあり、運動種目の適正な維持・継続とが徐々に難しくなっていく状況である。

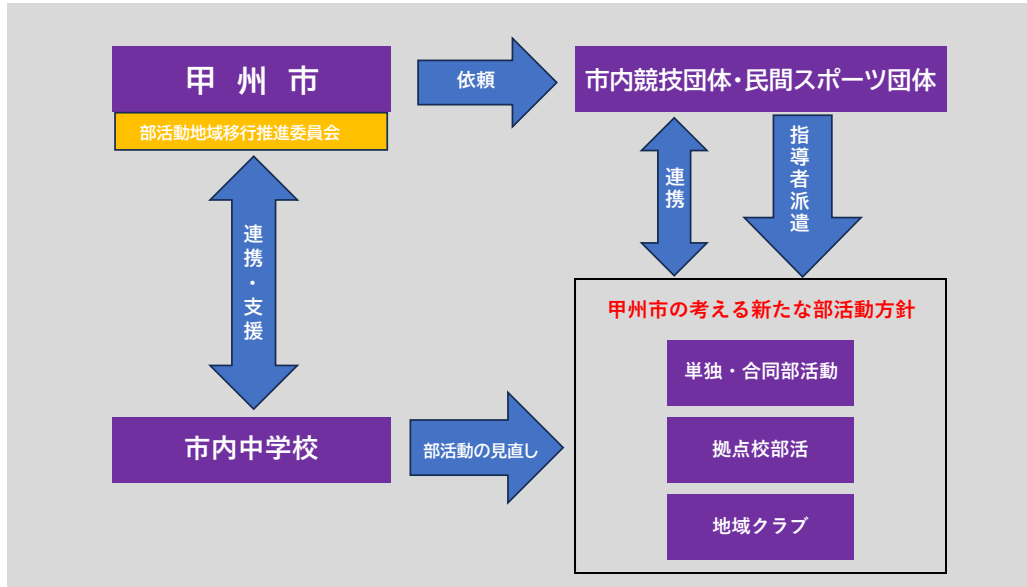
このため、市内中学校での運動部活動の整理や合同化を進めて、地域連携等により存続する種目と、地域展開への促進を図る二種類のパターンへの仕分けを行っていく方針であるが、どちらを進めるにも、人口減少が進むスポーツ人口も少ないため指導者確保が大きな課題となる。



## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●市区町村における推進体制図



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会（生涯学習課課）

- ・運動部活動の地域移行を主体となり実施。コーディネーターを配置し、方針案の検討と策定及び調整
- ・甲州市部活動地域展開推進協議会の事務局として、市の方針を決めて、実行

##### ◎教育委員会（教育総務課）

- ・部活動現場での教職員、生徒との調整
- ・生徒、保護者への周知等

### 年間の事業スケジュール

令和7年6月	第1回甲州市中学校部活動地域移行推進委員会
令和7年7月	第1回実証事業生徒募集
令和7年 7月～8月	現部活顧問の競技ごとの意見集約
令和7年8月	実証事業の開始 第1回実証事業生徒募集
令和7年12月	第2回甲州市中学校部活動地域移行推進委員会
令和7年12月	第2回実証事業生徒募集
令和8年1月	新入生保護者説明会
令和8年2月	地域クラブ指導者への聞き取り調査
令和8年2月	第3回甲州市中学校部活動地域移行推進委員会

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		3クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		3クラブ（3部活動）
	B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数		0クラブ
全体の指導者数	17人	全体の運営スタッフ数	17人

#### ②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
甲州市ラグビークラブ	地域クラブ	ラグビーフットボール	・月5～6回程度	13：30～16：00 16：00～18：30	1年生 2名 2年生 13名 3年生 4名	【前期】 令和7年7月31日～9月21日 【後期】 令和7年1月7日～2月4日	8人	8人	1,300円/年額	中体連：部活動 その他：地域クラブ
甲州市ソフトテニスクラブ	地域クラブ	ソフトテニス	・月4回	18：30～20：30	1年生4名 2年生2名	令和7年10月7日～令和8年2月18日	3人	3人	800円/年額	
甲州市卓球クラブ	地域クラブ	卓球	・月4回	19：30～21：30	1年生6名 2年生6名	令和7年10月18日～令和8年2月21日	6人	6人	800円/年額	

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

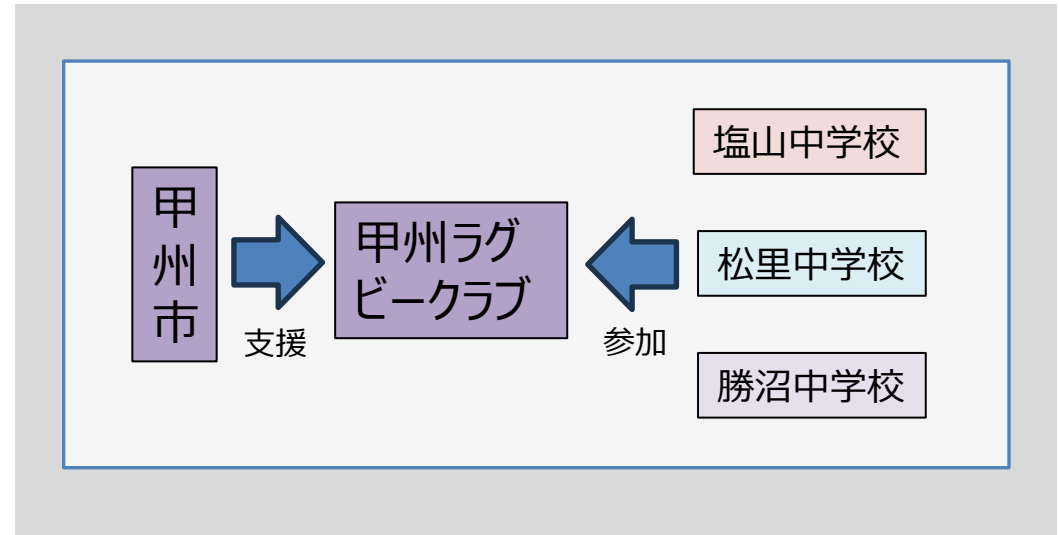
- 令和7年7月の1学期終業式前に3クラブの募集を行った。また、12月には2回目の地域クラブ（ラグビー部）の募集を行った。
- 令和8年1月に開催された新入生保護者説明会において、現在の状況説明を行った。

## 主な取組例

### ●甲州ラグビークラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ラグビーフットボール
運営団体名	甲州市ラグビークラブ
期間と日数	7月31日～2月4日 練習:月5～6回程度 練習試合・公式戦
指導者の主な属性	地元の指導者・市内中学校教諭
活動場所	塩山中学校・勝沼中学校
主な移動手段	自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	1,300円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり:800円/年 指導者1人あたり:1,850円/年

### ●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

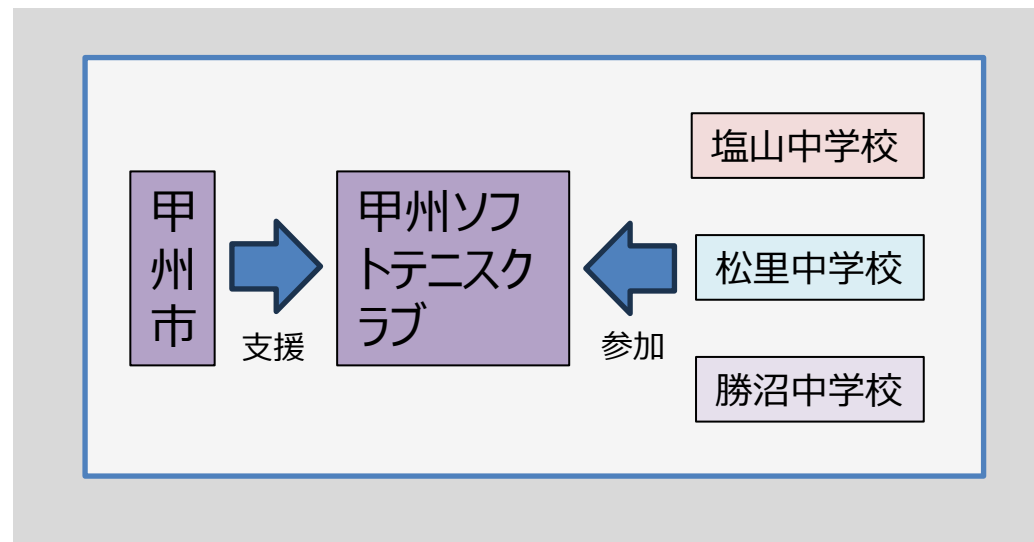
- 統括責任者 1名  
役割: 連絡調整、クラブ運営に関わることを行う
- 主任指導者 2名  
役割: 練習内容の決定、指導者への連絡、練習に伴うことを行う
- 運営補助者 2名  
役割: クラブ員への連絡、事務に係ることと指導を行う
- 指導員 3名  
役割: 生徒に対する指導を行う。

## 主な取組例

### ●甲州ソフトテニスクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ソフトテニス
運営団体名	甲州市ソフトテニスクラブ
期間と日数	月4回程度
指導者の主な属性	地元の指導者・市内中学校教諭
活動場所	甲州市塩山テニス場
主な移動手段	保護者送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	800円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

### ●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 主任指導者 1名  
役割：練習内容の決定、指導者への連絡、練習に伴うことを行う
- 指導員 2名  
役割：生徒に対する指導を行う。

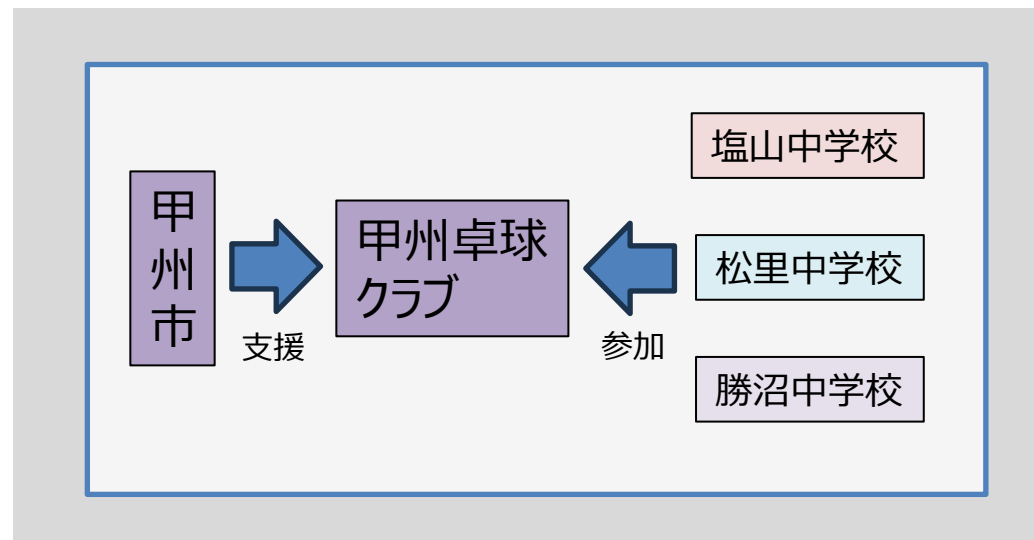
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●甲州卓球クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	卓球
運営団体名	甲州市卓球クラブ
期間と日数	月4回程度
指導者の主な属性	地元の指導者・市内中学校教諭
活動場所	塩山北小学校体育館
主な移動手段	自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	800円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

#### ●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者 1名  
役割：連絡調整、クラブ運営に関わることを行う
- 主任指導者 2名  
役割：練習内容の決定、指導者への連絡、練習に伴うことを行う
- 運営補助者 1名  
役割：クラブ員への連絡、事務に係ることと指導を行う
- 指導員 3名  
役割：生徒に対する指導を行う。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

- コーディネーター1名の配置
  - ・関係団体・市町村等との連絡調整等
  - ・運営団体・実施主体の体制整備や質の確保
- 甲州市運動部活動地域移行推進委員会の開催（年3回）

##### 取組の成果

- コーディネーターについては、昨年度から引き続き同じ方を任用したことで、事業に継続性を持って進められた。また、コーディネーターが元中学校教諭であったことから、各中学校との連携もスムーズに行えた。
- 推進委員会に保護者代表を入れたことで、保護者や生徒の意見を聞くことが出来た。
- 本年度も中学校各競技部から意見を聞き取り、各部活動の現状を把握することができた。今後の課題や方向性についてを認識することが出来て、事務局との関係構築となった。
- 現在外部に指導をお願いしている部活動等には、市団体競技部から聞き取りを実施し、外部団体と地域クラブ化に向けての協議ができた。

##### 今後の取組における課題

- 関係者への周知と協力体制の構築
- 指導者の確保

##### 課題への対応方針

- 体育施設利用のルール設定
- 部活動地域展開の広報活動

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

- 市内中学校との連絡調整
- 他自治体の情報共有
- 実証事業の連絡調整、活動補助等
- 会議への参加
- 各競技ごとの顧問へのヒアリング

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 取組事項

- 昨年度まで、協力してくれていた外部指導者への説明と協力依頼
- 指導者に対して、日本スポーツ協会ワークブック、動画「ケーススタディから考えるグッドコーチング～グッドプレイヤーのさらなる育成を目指して～」を活用し研修を実施した。
- スポカルやまなしを活用しての指導者確保（マッチングなし）
- 各スポーツ団体に地域クラブへの協力要請。

##### 取組の成果

- 今年度については、3競技17名の指導者が交代で指導を行えた。
- 指導者には日本スポーツ協会ワークブックと研修動画の視聴を依頼し、全員が視聴した。
- 指導者の年齢が20代～50代と幅広い世代であり、多くの意見や指導方法などの意見交換が活発に行えた。

##### 今後の取組における課題

- 各競技で中心的指導者の声掛けにより、協力いただいた指導者については、継続的に指導してもらえるような仕組みが必要である。

##### 課題への対応方針

- 指導者に対して、資質向上のための研修の受講や資格取得を促進する。来年度は複数回開催予定

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

### イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 多様な人材の発掘・配置に向けた取組

- 市スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ推進員、文化協会等の団体に地域展開の趣旨等を説明し、指導者としての参加呼びかけ。

##### 指導者の資格取得促進に向けた取組

- 資格の取得を目指す環境整備に向けた取組
- 資格取得資金の援助

指導者総数	17人
資格所持指導者数	5人
本年度資格を取得した指導者	1人

##### 平日・休日の一貫指導に関する取組

- 学校部活動の顧問と地域クラブ指導者の連絡調整会議を定期的に行う。
- 部活動指導員制度の活用。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
**ウ：関係団体・分野との連携強化**  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

- 関係団体との連携については、総会や専門部ごとの話し合いに参加し、情報提供を行った。また、教室や軽微なクラブの運営者に連絡を取り、連携を打診した。
- スクールバスの活用については、スクールバス導入初年度ということで教育総務課との調整ができなかった。

##### 取組の成果

- 関係団体と連携をとることにより、部活動地域展開に関する理解をしてもらえた。
- 保護者が協力的で、練習や大会への参加への送迎を行ってもらえた。地域公共交通機関を活用した生徒の満足度は0%だった

##### 今後の取組における課題

- 中高校生の活動について行っていない部が多く、新たに中学生の参加に二の足を踏む専門部が多かった。  
また、クラブとして活動するにあたって小学生から中学生までの範囲で、各年代で初心者から上級者までを扱うことの難しさを挙げる指導者も多かった。

- 中学校が統合し新たに導入したスクールバスを、クラブ員の移動に使うことには事務的に対応できなかった。  
また、参加者数も多くなく、保護者による送迎で事足りた。
- 保護者の送迎で迎える時間に遅れるなど、指導者が残らないとまらない時があった。

##### 課題への対応方針

- 当分の間は休日のみの参加になるので、現在の活動方針に沿って無理のない形で中学生を受け入れてもらう。
- スクールバスの活用については、参加人数の増加に対応するように準備を進めていく。そのことにより、保護者への負担を減らしていく。

##### 地域公共交通との連携に関する取組

- スクールバスの活用についての検討
- デマンドバス等の地域クラブへの活用の検討。

##### 関係団体等との連携に関するスポーツ推進委員の取組

- 地域における関係団体等の適切な役割分担と連携・協働
- スポーツ推進委員による関係団体等との連携に向けた取組

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

- 県主催の会議に参加し、各市町村の進捗状況を知ることができた。
- 統括コーディネーターが近隣の市との連携のために学習会並びに情報交換会を2か月に一度開催した。

##### 取組の成果

- 多くの市町村の現状を知ることができた。また、それを参考に関係団体等に話をすることができた。
- 規模は異なるがコーディネーター同士で、課題や取り組みの悩みなどを旧友することができた。

##### 今後の取組における課題

- 近くの市でも、コーディネーターが設置されていない所もあり、連携にまで至っていない。
- 実際に多面的な形で活動する前に、市単独で創設できるクラブから取組を実施している。
- 市によって担当部署が違ったり、多くの部署が関わったりしている。さらに市の規模や方針の違いで前に進まないことが多い。
- 近くの高校で総合的なクラブの創設の話が出てきているので、協力する形で進めていきたい。

##### 課題への対応方針

- 近隣の市すべてにコーディネーターが設置された時点で広域な連携をしていく。
- まずは隣との2市で連携を進めていく。
- コーディネーター同士の話を各部署の担当に伝え連携を図る。

##### 市区町村等を越えた取組

- 隣接する市との共同で地域クラブ活動に向けての話し合い
- 活動場所や指導者の確保における複数の市の連携
- 隣接する市のコーディネーター同士の話し合いによる情報交換

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実

##### 取組事項

- ・ 児童生徒へのアンケートは昨年度の資料が残っていたので実施しなかった。
- ・ ラグビー部は常時活動している生徒はおらず、試合の時期に合わせて、いろいろな種目を行っている生徒が集まって行った。

##### 取組の成果

- ・ 既存の部活動を休日にクラブとして活動しても、新たに体験したいという児童生徒がいない。

##### 今後の取組における課題

- ・ 今年度は先生の中にラグビーの指導者がいたので、多くの生徒に声掛けを行い選手を集めることができた。今後学校にラグビーの指導者がいなくなったときに選手集めに課題が出てくる。
- ・ 小学校の児童にアンケートを取るときに、種目を自由記述にしたところ、希望が多種多様になってしまった。

##### 課題への対応方針

- ・ アンケートの種目については、項目を決めて選択制にしていく。
- ・ 部活動としてない種目については、広報をしっかりとる。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

##### 取組事項

- 指導者への報酬
- 統括コーディネーター人件費

##### 取組の成果

- 本年度については、地域クラブとして3クラブの実証事業を行った。参加費用の受益者負担については、参加者に極力負担が少ないように活動を行った。
- 登録料、保険料など個人が活動に必要な費用については、受益者負担として協力を得られたが、指導者謝金やこれまでの部活動では、負担しなかつた経費については、市が負担した。

##### 今後の取組における課題

- 今後の活動について、参加者及び保護者から理解を得るための説明会の開催や、チラシの配布など、周知への取り組みが必須である。

##### 課題への対応方針

- イニシャルコストについては、導入時に必要な備品やユニフォームは、現状活用できるものを有効に活用していくことで、出費を抑えていく。
- ランニングコスト、特に人件費に係る部分については受益者負担を軸に仕組みづくりを考えなければ、持続的な活動は困難である。併せて、参加者及び保護者への理解を深めていく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

#### 地域クラブに係る経費

##### ■インシャルコストの分析

- 本年度、地域クラブ方式によるラグビー部、卓球部、ソフトテニス部について実証事業を行った。インシャルコストとして、考えられる備品購入等については、これまで各中学校で使用していた備品を流用した。
- 参加生徒のスポーツ保険については、個人負担とした。

##### ■ランニングコストの分析

- 指導者謝金（1,600円/1時間）

・ラグビー	328,000円	
・卓球	144,000円	
・ソフトテニス	60,800円	合計 532,800円
- 指導者謝金を参加者33人で割ると一人16,145円の負担となる。今後地域クラブとして活動を始めると諸経費等の負担は大きくなることが予想される。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

- 学校施設を使用する場合は、既存の社会施設利用のルールに従いおこなった。
- 施設の利用には減免処置を行い優先的に利用できるようにした。

##### 取組の成果

- 本年度の地域クラブ活動の三分の二を学校施設を利用して実施した

##### 今後の取組における課題

- 学校施設までの用具の搬送が課題になった。
- 今後クラブとして活動する競技が増えてきた場合、平日活動している部活動の大会への参加前の活動では利用できないことも出てくる。
- 学校備品を使用するための鍵の管理など。

##### 課題への対応方針

- 活動場所の学校の部品や消耗品を使えるようにしたい。
- 学校施設の警備システムのブロック化による使用範囲の設定など。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 学校施設利用上の負担軽減に向けた取組

- 地域展開関係団体に関しては施設利用料を免除した。

##### 用具使用・管理等における取組

- 学校体育施設等の夜間照明の活用。
- スポーツ協会の専門部の用具消耗品を借用することで、スムーズに活動ができた。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

- 本年度は、実証事業2年目であり、季節部のラグビー一部に加え、卓球部、ソフトテニス部を地域クラブ化して、多くの方々より協力や助言をいただき、クラブ運営をすることが出来た。また課題点も見えてきた。
- 実施事業の拠点校方式の女子ソフトボール部については、応募が無く残念であった。
- 生徒や保護者、部活動顧問への理解を深めるための活動も含め、地域クラブ募集チラシの配布を行った。
- 新1年生保護者説明会で、部活動の状況説明が実施できた。

#### ●成果の評価

- 課題が見えたことで、次年度の実証事業に向けて、早期の段階から新たな地域クラブの発足に向けて取り組んでいく。
- 少子化による部活動が成り立たない中学校もあることから、今後は平日の部活動も含め、地域に展開していかないとならない。

#### ●今後に向けて

- 部活動の地域展開は、「生徒が将来にわたり、スポーツ・文化芸術活動を親しむ機会の確保・充実」が理念となっていることから、令和8年度からは甲州市部活動推進協議会の中の「専門部会」の積極的な活動のもと、市と教員、地域が一体に取り組むべき体制整備をし、常に「生徒」が主体であることを念頭に置いて、甲州市としてとれる体制を整備するためにも、早期に市としての方向性を決めて、取り組んでいくことが望ましい。
- 近隣自治体との広域的な合同部活動が今後は増加する見込みであることから、自治体連携も必要となってくる。

### アンケート結果・参加者/関係者の声

#### ●関係者の声

##### ●ソフトテニス関係者

- ・学校の部活動では学べないスキルを学ぶことができた
- ・同じモチベーションの生徒が多いのでやりがいがあった
- ・平日の部活動との活動内容を合わせていくのが良いのか、生徒の希望のレベルに合わせたらいいのか考える。

##### ●卓球関係者

- ・やりたい仲間が集まってできてよい。
- ・レベルの違う生徒を差別なく活動させることが難しい

##### ●ラグビー関係者

- ・保護者、地域住民の方の協力があり、スムーズに活動することができた
- ・普段の活動では体験できない種目をたいけんできた
- ・先生方の協力無くして活動の継続はない

##### ●学校関係者

- ・生活に課題がある生徒にもクラブに参加する機会を与えて欲しい。

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料



【甲州市中学校部活動地域移行推進委員会】



【甲州市ラグビークラブ新人戦】



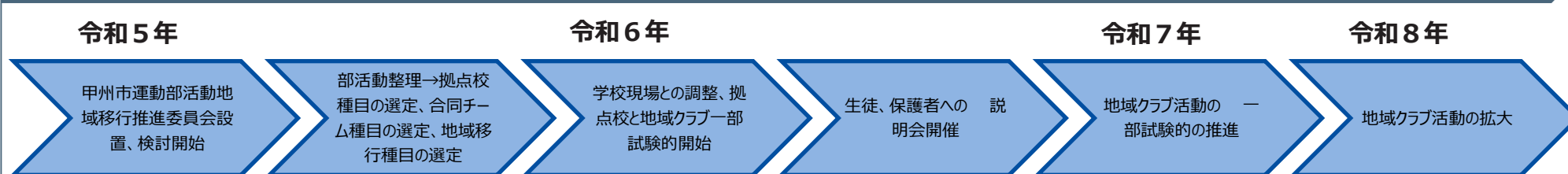
【甲州卓球クラブの指導風景】



【甲州ソフトテニスクラブの指導風景】

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



- 年3回（7月、11月、2月）、推進委員会の実施。
- 部活種目の整理と地域クラブの体制整備に向け、甲州市としての基本方針について協議、決定をした。
- 令和5年4月コーディネーター2名を委嘱、7月「甲州市中学校運動部活動地域移行推進委員会を設置」構成は教育長を顧問、スポーツ推進審議会、スポーツ協会、スポ少、スポーツ推進協議会、総合型地域スポーツクラブ市PTA代表、市内中学校長、運動部活動顧問を中心に委嘱。
- 教員間の意識の相違に課題が見られた。

- コーディネーターが主体となり地域クラブ指導者への声かけ。
- 令和6年度に部活動整理を行う際、季節部であるラグビー部の指導者に声かけしたところ、興味を示したため地域クラブ設立の打診を行った。
- 創設前であるが、受益者負担の方法や地域クラブを統括する体制が決まっていなまでの方針決定となった。
- 部活動整理に辿り、現在活動中の部活動の地域クラブ化は、ハードルが高いため、季節部である種目から声をかけて実施への合意に到った。

- 市事務局で学校現場と児童・生徒・保護者向けの説明会を開催。
- 令和7年度から部活動整理等の開始に向けて、児童生徒保護者への情報発信と理解促進をし、地域クラブ活動の活性化につなげる。
- 甲州市の特性として、地域移行には、学校現場での意識差をなくすことの方が重要ではないかと考えるため、より密に連携を行える体制を構築する。

- 学校現場との調整により部活動の地域クラブ化の促進。
- 現状の部活動整理により、将来の地域クラブ化の足掛かりとする計画であるが、生徒数や顧問の専門性など、状況により移行可能な種目を見出すことも可能であると考え検索を行う。
- 現状の形での部活動に固執する教員も少なからずいるため、意識改革を行うかが課題である。
- 学校や顧問などと緊密な連携を取り計画外の種目にも地域クラブ化が可能な種目を探し出す。

# 3. 今後の方向性

地域連携・地域展開の推進に向けたロードマップ

